

令和8年竹田市教育委員会第5回定例会 会議録

- 1 開催日時 令和8年5月7日（木）午後2時56分から
- 2 開催場所 竹田市役所2階庁議室
- 3 出席委員

教育長	志賀 哲哉
1番委員（教育長職務代理者）	岡 茂樹
2番委員	佐藤 健吾
3番委員	進 みづほ
4番委員	吉野 聖子
- 4 欠席委員 なし
- 5 本定例会に説明のため出席した者の職・氏名

教育総務課長	廣瀬 恵三
学校教育課長	渡部公比古
社会教育課長	橋本 一彦
文化財課長	真田 博幸
歴史文化館長	櫛浦 幸徳
竹田学校給食共同調理場長	藤原みどり
事務局員 教育総務課課長補佐	古澤 邦利
- 6 議事日程
 - (1) 会議録の承認 第4回定例会会議録
 - (2) 教育長報告
 - (3) 審議事項
 - 議題第31号 令和8年度竹田市教育費予算（6月補正）要求書について
 - 議題第32号 竹田市立小学校設置条例及び竹田市体育施設条例の一部を改正する条例の制定を市長に申し出ることについて
 - 議題第33号 竹田市都市公園条例の一部を改正する条例の制定を市長に申し出ることについて
 - 議題第34号 竹田市体育施設条例の一部を改正する条例の制定を市長に申し出ることについて
 - 議題第35号 竹田市直入B&G海洋センター条例の一部を改正する条例の制定を市長に申し出ることについて
 - 議題第36号 竹田市公民館条例の一部を改正する条例の制定を市長に申し出ることについて
 - 議題第37号 竹田市祖母山麓体験交流施設「あ祖母学舎」条例の一部を改正する条例の制定を市長に申し出ることについて
 - 議題第38号 竹田市ドイツ村簡易宿泊施設及びドイツ村温泉条例の一部を改正する条例の制定を市長に申し出ることについて
 - (4) 報告事項
 - (5) 審査事項
 - (6) 協議事項
 - (1) 令和8年度中学校体育大会について
 - (7) 連絡事項
 - (1) 5月幼・小・中行事予定表
 - (2) 5月教育委員会関係日程（予定）表

- (3) 今後の主な予定
- (8) その他 各課から
- (9) 教育委員からの提案・意見

7 議事次第 別紙のとおり

[開会時刻：午後2時56分]

- 廣瀬教育総務課長 委員の出席状況です。教育長及び教育委員4名が出席、傍聴者はありません。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第3項の規定に基づき、本委員会が成立していることを報告いたします。
- 志賀教育長 それでは、ただいまから令和8年第5回定例会を開会します。第4回定例会の会議録はすでにお配りしていますが、質疑、修正等はありませんか。
- 委員 (「はい。」の声)
- 志賀教育長 それでは会議録を承認願えますか。では、会議録に署名をお願いします。
- (署名)
- 志賀教育長 次に、教育長報告をお願いします。教育総務課長。
- 廣瀬教育総務課長 教育長報告を申し上げます。
4月3日、竹田市教育委員会第4回定例会、里見奨学会創立70周年記念式典に出席しました。6日、8日は、久住地域自治会長会、城原地区自治会長会にそれぞれ出席し学校統合にかかる年度初めのあいさつを行いました。9日、竹田南部中学校入学式、久住高原農業高校入学式。10日、久住小学校入学式に出席しました。13日、竹田支援学校入学式、竹田市公立幼稚園会総会、白丹小学校保護者会役員会。14日、第2回校長・所長会議、直入中学校保護者会役員会に出席しました。15日、久住地域スポーツ協会総会。16日、竹田市退職女教師の会総会、教育振興評議委員会。18日、竹田市退職校長会総会。20日、大分県市町村教育長会議兼大分県教育情報化推進本部会議。28日、竹田市スポーツ協会評議委員会。5月に入り7日、教育委員会第5回定例会、声楽コンクール実行委員会が予定されています。以上でございます。
- 志賀教育長 教育長報告に対する質疑等はありませんか。
- 委員 (「はい。」の声)
- 志賀教育長 それでは、次に移ります。本日の審議案件は8件です。初めに議題第31号「令和8年度竹田市教育費予算(6月補正)要求書について」です。各課から説明を行い、すべてが終了した後に質疑を受けたいと思います。それでは、教育総務課長をお願いします。
- 廣瀬教育総務課長 資料の2ページをご覧ください。歳入は、15款2項4目の公立学校施設整備費(国庫補助金)32,637千円の増額要求をおこなっています。これは竹田小学校増築工事にかかる国庫補助金の増額補正です。県への申請手続きを行うなかで補助率が事業費の55%ということで、従来、想定していた補助要件よりも有利な条件で申請することができることとなったための増額補正です。
歳出は10款1項2目事務局費に通信運搬費を104千円要求しています。昨年度、令和8年度から令和12年度を計画期間とする新たな竹田市長期総合教育計画を策定したところです。新たな計画にもとづき、今後の中学校のあり方につ

いて未就学児童保護者を含めて保護者アンケートを実施しようとする経費です。10款2項1目小学校管理諸費は24,837千円の増額補正を計上しています。竹田小学校増築工事にかかる建築確認申請手数料367千円、設計監理委託料3,170千円、工事請負費は20,000千円の増額を要求しています。当初予算編成時点から人件費、資材価格等の高騰により建築単価が上昇していることに加え、最近の中東情勢等により更に工事費の上昇が見込まれることに伴う増額補正です。そのほか令和9年4月を目標年度とする城原小学校と竹田小学校の統合について、6月定例会に条例改正案を上程することに伴い、同時に閉校記念事業実行委員会補助金1,300千円を計上しております。以上でございます。

志賀教育長

渡部学校教育課長。

渡部学校教育課長

学校教育課です。3ページをお願いします。
歳入は、補助金の交付基準に照らして、2,086千円の減となっています。部活動については、文化部、運動部で大きく分かれて、さらに休日のみの活動、或いは平日プラス、休日、というふうに厳格に規定が分かれておりますので、これに照らし合わせた結果となっております。
歳出について、通勤手当の不足分の補正以外に、10款3項2目、竹田市教育支援センター運営事業として、サフランの児童生徒の活動の機会を保障するために、調理実習の材料費を35千円要求しています。同じく、部活動地域展開推進事業として、団体に謝礼を渡すために報償費を役務費に組み替えを行っているところです。以上です。

志賀教育長

橋本社会教育課長。

橋本社会教育課長

資料4ページをお開きください。
歳入はありません。
歳出ですが、10款5項13目、事業番号394、あ祖母学舎運営管理費ですが、期限切れのため、消火器6本の購入費として、消耗品費40千円を計上しております。次に、10款6項1目、事業番号396、保健体育総務諸費ですが、公共予約システムマスター変更に伴う業務手数料424千円及び、総合運動公園やB&G施設管理人等と情報共有を行うためのシステム(LINEWORKS)使用料として、73千円の計497千円を計上しております。また、事業番号406、海洋センター運営管理費ですが、体育館女子更衣室の換気扇修繕料として557千円を計上しております。以上、総額1,094千円を計上しております。以上です。

志賀教育長

真田文化財課長。

真田文化財課長

文化財課です。5ページをご覧ください。
歳入についてですが21款4項4目教育受託事業収入について145千円の増額で計上しています。これは、埋蔵文化財発掘調査の整理作業員として本年度新規で雇用した会計年度任用職員の通勤手当について、通勤距離が確定したことによる増額です。
次に歳出です。10款5項8目文化財保護事業諸費の負担金・補助及び交付金を2,500千円増額計上しています。これは岡城桜まつり実行委員会への桜まつりで使用する衣装や用具の整備に対する補助で、事業費総額10,000千円の1/4に

あたる 2,500 千円を補助するものです。なお事業費 10,000 千円のうち 1/2 にあたる 5,000 千円は国土交通省の補助事業である観光・歴史まちづくり事業を活用しています。次に 10 款 5 項 11 目発掘調査事業の 145 千円増額については、歳入でも説明を行いました埋蔵文化財発掘調査の整理作業員の通勤手当に係る増額です。以上です。

志賀教育長 説明が終わりましたので質疑を受けます。まず、教育総務課について質疑等はありませんか。

委員 (「はい。」の声)

志賀教育長 社会教育課について質疑等はありませんか。

委員 (「はい。」の声)

志賀教育長 文化財課について質疑等はありませんか。

委員 (「はい。」の声)

志賀教育長 ないようでしたら、議題第 31 号を承認してよろしいですか。

委員 (「はい。」の声)

志賀教育長 承認されました。次に、議題第 32 号「竹田市立小学校設置条例及び竹田市体育施設条例の一部を改正する条例の制定を市長に申し出ることについて」です。説明をお願いします。教育総務課長。

廣瀬教育総務課長 はい。議題第 32 号「竹田市立小学校設置条例及び竹田市体育施設条例の一部を改正する条例の制定を市長に申し出ることについて」、この案は、竹田市立城原小学校が令和 9 年 3 月 31 日をもって閉校することに伴い、所要の改正を行うものであります。城原小学校については、本年 3 月 12 日に開催された第 2 回城原小学校統合検討委員会において令和 9 年 4 月を目標年度とする竹田小学校との統合が決議されております。これに伴う条例改正となります。以上です。

志賀教育長 ただいまの説明に質疑等はありませんか。
ないようでしたら、議題第 32 号を承認してよろしいでしょうか。

委員 (「はい。」の声)

志賀教育長 承認されました。次に、議題第 33 号「竹田市都市公園条例の一部を改正する条例の制定を市長に申し出ることについて」です。社会教育課長、説明をお願いします。

橋本社会教育課長 はい。議題第 33 号「竹田市都市公園条例の一部を改正する条例の制定を市長に申し出ることについて」です。この案は、近年の物価高騰や労務費の急激な上

昇を反映した使用料の見直しを行い、受益者負担の適正化を図るため所要の改正を行うものです。改正内容は、第16条関係の別表第2について、下記のとおり改めるものです。以上です。

志賀教育長 ただいまの説明に質疑等ありませんか。ないようでしたら、議題第33号を承認してよろしいですか。

委員 （「はい。」の声）

志賀教育長 承認されました。次に議題第34号「竹田市体育施設条例の一部を改正する条例の制定を市長に申し出ることについて」です。社会教育課長、説明をお願いします。

橋本社会教育課長 議題第34号「竹田市体育施設条例の一部を改正する条例の制定を市長に申し出ることについて」です。この案は、近年の物価高騰や労務費の急激な上昇を反映した使用料の見直しを行い、受益者負担の適正化を図るため所要の改正を行うものです。改正内容は、第6条関係の別表第1から第3について、下記のとおり改めるものです。以上です。

志賀教育長 ただいまの説明に質疑等はありませんか。ないようですので、議題第34号を承認してよろしいですか。

委員 （「はい。」の声）

志賀教育長 承認されました。次に議題第35号「竹田市直入B&G海洋センター条例の一部を改正する条例の制定を市長に申し出ることについて」です。社会教育課長、説明をお願いします。

橋本社会教育課長 議題第35号「竹田市直入B&G海洋センター条例の一部を改正する条例の制定を市長に申し出ることについて」です。この案は、近年の物価高騰や労務費の急激な上昇を反映した使用料の見直しを行い、受益者負担の適正化を図るため所要の改正を行うものです。改正内容は、第11条関係の別表について、下記のとおり改めるものです。以上、よろしくをお願いします。

志賀教育長 ただいまの説明に質疑等はありませんか。ないようですので、議題第35号を承認してよろしいですか。

委員 （「はい。」の声）

志賀教育長 承認されました。次に議題第36号「竹田市公民館条例の一部を改正する条例の制定を市長に申し出ることについて」です。社会教育課長、説明をお願いします。

橋本社会教育課長 議題第36号「竹田市公民館条例の一部を改正する条例の制定を市長に申し出ることについて」です。この案は、受益者負担の適正化を図る観点と、近年の物価高騰や労務費の急激な上昇を反映した使用料の見直しを行い、所要の改正を

行うものです。改正内容は、第 10 条関係の別表第 2 から第 6 について、下記のとおり改めるものです。よろしくお願ひします。

志賀教育長 ただいまの説明に質疑等はありませんか。ないようですので、議題第 36 号を承認してよろしいですか。

委員 （「はい。」の声）

志賀教育長 承認されました。次に議題第 37 号「竹田市祖母山麓体験交流施設「あ祖母学舎」条例の一部を改正する条例の制定を市長に申し出ることについて」です。社会教育課長、説明をお願いします。

橋本社会教育課長 議題第 37 号「竹田市祖母山麓体験交流施設「あ祖母学舎」条例の一部を改正する条例の制定を市長に申し出ることについて」です。この案は、受益者負担の適正化を図る観点と、近年の物価高騰や労務費の急激な上昇を反映するため使用料の見直しを行い、所要の改正を行うものです。なお、指定管理施設のため、使用料の額は表に定める範囲で指定管理者が定めるものとします。改正内容は、第 7 条中「別表に掲げる」を削除し、第 2 項を第 3 項、第 3 項を第 4 項とし、新たに第 2 項を加え、別表を以下のとおり改めるものです。以上、よろしくお願ひします。

志賀教育長 ただいまの説明に質疑等はありませんか。ないようでしたら、議題第 37 号を承認してよろしいですか。

委員 （「はい。」の声）

志賀教育長 承認されました。次に議題第 38 号「竹田市ドイツ村簡易宿泊施設及びドイツ村温泉条例の一部を改正する条例の制定を市長に申し出ることについて」です。社会教育課長、説明をお願いします。

橋本社会教育課長 議題第 38 号「竹田市ドイツ村簡易宿泊施設およびドイツ村温泉条例の一部を改正する条例の制定を市長に申し出ることについて」です。この案は、受益者負担の適正化を図る観点と、近年の物価高騰や労務費の急激な上昇を反映するため使用料の見直しを行い、またドイツ村温泉を廃止することに伴い所要の改正を行うものです。改正内容は、条例名及び第 1 条中の「及びドイツ村温泉」を削除し、第 1 条中の及び公衆浴場法（昭和 23 年法律第 139 号）、第 2 条、第 3 の 2、第 3 条の 3 及び第 6 条中の「及び温泉」を削除、第 3 条中の「及び竹田市ドイツ村温泉（以下「温泉」という。）を削除し、第 2 条を以下のとおり改めるものです。以上です。

志賀教育長 ただいまの説明に質疑等はありませんか。ないようでしたら、議題第 38 号を承認してよろしいですか。

委員 （「はい。」の声）

志賀教育長 承認されました。次に移ります。報告事項はありません。協議事項について、教

育総務課長、説明をお願いします。

廣瀬教育総務課長 協議事項です。令和8年度中学校体育大会についての資料をご覧ください。中学校の体育大会については、昨年度までは、土日等の開催ということで、教育委員の皆さんの日程調整を行い、出席をお願いしてきましたが、本年度から別紙のとおり4校中、3校が平日開催、1校が土曜日開催となったことに伴い、教育委員の皆さんのご都合も考慮して、原則は自由参加という扱いにしてはどうかと考えております。そのうえで委員の方からどちらかの中学校に出席する予定がある旨を事前にお知らせいただければ学校に伝えるなど調整をしたいと考えておりますのでよろしく願いいたします。なお、出席の予定がある場合には5月8日までに教育総務課までご連絡ください。なお、市長、教育長につきましては竹田南部中学校の体育大会に出席予定となっております。以上です。

志賀教育長 質疑等はありませんか。
協議事項についてはよろしいでしょうか。

委員 (「はい。」の声)

志賀教育長 次に連絡事項です。初めに、「5月の幼稚園、小学校、中学校の行事予定表」については、学校教育課長、「教育委員会関係日程表、今後の主な予定」については、教育総務課長、順次説明をお願いします。

渡部学校教育課長 5月の行事予定です。
児童生徒の安全面を考慮した行事が多く組まれています。まず、交通安全教室・防犯教室が、7日竹田小、11日都野小、13日荻小、14日直入小、18日南部小、21日城原小、25日竹田幼稚園、27日豊岡小で行われます。続いて避難訓練が、8日白丹小、11日南部幼稚園、12日豊岡小・城原小、13日竹田幼稚園、19日都野小、20日祖峰小・竹田南部中となっております。田植え・芋植えの体験学習が、14日荻小、19日白丹小、26日南部幼稚園、28日竹田幼稚園、29日祖峰小となっております。最後に中学校体育大会が14日竹田中・緑ヶ丘中、15日直入中、16日竹田南部中となっております。以上です。

廣瀬教育総務課長 教育委員会関係日程表です。
5月7日、竹田市教育委員会第5回定例会、声楽コンクール実行委員会。第60回九州高校女子ソフトボール選手権大会は8日から10日までの日程で開催されます。11日、竹田市人権擁護委員協議会総会。13日～15日、全国都市教育長協議会定期総会・研究大会(高知県)。18日、鏡処刑場鎮魂祭、竹田市人権啓発推進協議会役員会、大分県租税教育推進協議会定期総会。19日、大分県市町村教育委員会連合会総会(別府市)。20日、第3回校長・所長会議、白丹地区自治会長会あいさつ。21日、R8北九州ブロックB&G地域海洋センター連絡協議会総会(佐賀県)～22日。25日、入山墓所清掃登山、竹田市人権啓発推進協議会総会、第48回竹田地域町内対抗ナイターソフトボール大会 開会式。26日、白丹小学校統合検討委員会。27日、竹田市租税教育推進協議会総会、城原小学校統合検討委員会。28日、人権の花運動指定書交付式、管内教育長会議。29日、竹田よしみ会総会。6月1日、竹田市議会6月定例会開会日、大分県危機管理研修会。2日、サフラン総会、岡城跡調査整備委員会～3日。3日、竹田市教育委

員会第6回定例会。

1 ページに戻っていただいて今後の主な予定です。令和8年度大分県市町村教育委員会連合会総会が5月19日(火)13時から別府市公会堂 大ホールで開催されます。なお、今年は竹田市から理事1名の依頼があり吉野委員にお願いしております。理事会は午前中開催となりますので出発時刻等は別途調整させていただきますのでよろしくお願ひします。教育委員会第6回定例会は6月3日(水)15時から、第7回定例会は7月3日(金)15時から、市役所2階庁議室で開催予定です。以上です。

志賀教育長

質疑等ありませんか。連絡事項について、よろしいでしょうか。

委員

(「はい。」の声)

志賀教育長

それでは、各課からお願いしたいと思います。まず、廣瀬教育総務課長。

廣瀬教育総務課長

教育総務課からは学校統合についての状況について報告します。議題でもご説明しましたが、本年度は令和9年4月を目標として白丹小学校と久住小学校、城原小学校と竹田小学校で統合の準備が行われております。統合を検討するにあたっては、当初より保護者や学校、地域の方々との合意形成を図るように努めてまいりました。本年度も白丹小、城原小、それぞれに統合検討委員会(=統合準備委員会と名称を改める予定)を設置して、最後まで保護者、学校、地域の話し合いの場を持ちながら進めてまいりたいと考えています。5月26日に白丹小学校、27日に城原小学校の委員会を開催する予定です。新しい自治会長やPTA役員の皆さんとこれまでの経過を共有して新年度の取り組みに進めていきたいと考えております。以上です。

志賀教育長

渡部学校教育課長。

渡部学校教育課長

2点お願いします。

1つ目は、オンライン英会話教室の取組です。寄付金を原資とした2年目の事業となります。定員は前回と同じく20名程度ですが、クラス分けについては若干習熟の希望を考慮したものを考えています。併せて、英検の受験も学校を通して呼びかけをしているところです。

2つ目は、研究指定に関するお知らせです。各学校では教師の授業力向上、児童生徒の学力向上等を目指して校内及び市内の学校が連携して研究がスタートしています。その中でも今年は特に、直入小学校の研究についてお知らせしておきます。本年度から直入小では、「教育課程柔軟化サキドリ研究事業」の指定意向となりました。2030年から実施される次期学習指導要領の中核として、「調整授業時数制度」があります。これは資料にあるように(既存の各教科等への上乗せ、教科の新設、裁量的な時間(学習枠、研究・研修等枠))を、まさしく先取りして試行し、柔軟な教育課程の編成・実施に取り組む学校を「サキドリ研究校」として指定しています。これにより、これまで一律で時間管理されていた教育課程を、学校の実態に合わせて柔軟に調整することができるようになります。全国をリードする研究となりますので、今後も成果や課題を報告したいと思ひます。以上です。

志賀教育長

橋本社会教育課長。

橋本社会教育課長

4月25日(土)第33回B&G直入カップバレーボール大会を竹田市直入B&G海洋センター体育館で開催しました。主催は、竹田市スポーツ協会・竹田市・竹田市教育委員会・B&G財団です。全10チームの出場があり、竹田市からは、市内の中学校合同クラブチーム「Speranza 竹田」が出場し3位に入賞、優勝はVigere大分(大分市クラブチーム)でした。

5月9日(土)・5月10日(日)に第60回九州女子ソフトボール選手権大会が竹田市総合運動公園竹田丸福スタジアムを主会場に開催されます。前日の5月8日(金)16時から市民体育館で監督会議、17時30分から、竹田市総合文化ホール グランツたけた廉太郎ホールで開会式を行いますので教育委員の皆さんもご出席をお願いします。

また、5月20日(水)には平成8年度「竹田市民教養大学」の開講式がグランツたけた廉太郎ホールで、また5月22日(金)に家庭教育講演会がキナーレでそれぞれ開催予定です。以上です。

志賀教育長

真田文化財課長。

真田文化財課長

文化財課からは2件のお知らせがあります。

まず、竹田市指定史跡である鏡処刑場跡にて、今年も「鏡処刑場鎮魂祭」を執り行います。鏡処刑場は、江戸時代に罪人の処刑が行われていた場所で、現在も当時を伝える3基の石碑が残されています。平成23年度に鏡処刑場を公有化し、石碑の保全と周辺環境の整備を進め、市民の皆さまに地域の歴史を学んでいただける史跡公園として整備を行い公開しています。整備以降、地域の皆さまとともに歴史を語り継ぐため、毎年鎮魂祭を開催しており、今年5月18日(月)に実施いたします。

次に、大船山の中腹に造られている国指定史跡である岡藩3代藩主墓所、通称入山公廟の清掃ボランティア活動についてです。これは久住高原農業高校により毎年ミヤマキリシマが大船山を彩る季節を前に美化活動を実施しているもので、今年5月25日(月)に実施いたします。ここ数年雨天により中止となっていました。今年度は、市職員と久住高原農業高校の1年生38名が参加して行われます。作業終了後に参加者でお参りを行ない、文化財課職員が入山公廟について説明を行います。文化財課からのお知らせは以上です。

志賀教育長

櫛浦歴史文化館長。

櫛浦歴史文化館長

歴史文化館から5月の展覧会などのお知らせです。

まず特別展示室ちくでん館では、前回の教育委員会でもお知らせしました「甲冑と武具」展を先月に引き続いて6月14日まで開催します。5月2日から6日の連休期間中は子どもを対象として厚紙で作られた甲冑の着付け体験を行い、5日間で93名の参加がありまして、庭での写真撮影などで楽しんでいただきました。

次に、市民ギャラリーですが、竹工芸家の長谷川絢さんの作品展を5月10日まで今度の日曜日まで開催した後に、5月15日(金)から24日(日)まで主に竹田市内の方達で活動している「きつつきの会」によりまず版画作品展を開催します。この会期中の23日(土)にはきつつきの会の方を講師とした版画のワ

ークショップを行います。それから、5月29日（金）から6月6日（土）まで竹田市美術展が開催されます。市民の方々の活動の展覧会が続きますので、是非足をお運びいただきたいと思います。以上です。

志賀教育長

藤原給食調理場長。

藤原給食調理場長

調理場です。

令和6年2月に福岡県の小学校1年生がうずらの卵で窒息した事故以降、給食でうずらの卵の提供を中止していましたが、5月20日のタイピーエンから再開します。県内の状況ですが、18市町村中うずらの卵を提供していないのは3市で竹田市を含めて2市は検討中でした。よく噛むよう文書をそえて提供する予定です。以上です。

志賀教育長

図書館について、廣瀬教育総務課長。

廣瀬教育総務課長
（図書館）

竹田市立図書館から開館記念感謝週間についてお知らせします。竹田市立図書館は平成29年5月21日に移転オープンして9年が経過します。この度、雑誌、本のふろく配布、あおぞらリサイクル市を開催します。5月19日（火）から24日（日）にはこれまでストックしていた本や雑誌の付録を、本を借りた方を対象に差し上げます。また、5月23日（土）、24日（日）の両日は除籍した一般書、児童書、絵本、雑誌といったリサイクル本を、おひとり様5冊まで無償でお譲りします。いずれも無くなり次第終了します。ケーブルテレビ、告知放送、市報、チラシ、ホームページ等で告知を行っていますので、市民の皆様への周知にご協力をお願いいたします。以上です。

志賀教育長

ご意見、質問等はありませんか。
岡委員。

岡委員

はい。この先取り研究事業について質問ですが、ちょっと具体的にイメージしたいので、例えば今、学校でどんなことがやりにくくなっていて、不具合とか問題など困っていることがあって、今回この制度を使うことによって、それがどう改善できるのかというイメージを教えてくださいたいのと、あと直入小で展開するというところで、何かプランがすでにあれば、少しご紹介いただけるとありがたいです。

志賀教育長

渡部学校教育課長。

渡部学校教育課長

はい。ありがとうございます。これが、先ほども言いましたように一律の時間管理ではなく、学校の実情に合わせたというところがポイントになるかなと思っています。まだ文科省の方でも、中教審の方でも特別部会の方で話し合いを進めているようにありますので、本当に詳しいことは申し上げることはできないんですが、自分のイメージとしては、例えば算数が苦手な集団のある学校の場合、国語の時間を削って算数に上乘せをすることができる。放課後や昼休み、無理に使わなくても、授業枠の中で、実情に合わせて対応することができるということが1つの利点だと思います。また、③裁量的な時間というのがありま

したが、これが先ほどご質問のあった直入小ではというところに大きく当てはまるかなと自分は考えています。直入小は、この先取りの研究事業とあわせて、金融教育の指定もセットで受けてもらっています。金融教育が先だったんですけども、金融教育を学ぶ上で、やはり時間が足りなくなるだろうと。総合的な学習もやりたいことがあるんだけど、時間が足りなくなる。そのあとに、この研究が舞い込んできましたので、ならば、これとセットでやったらどうかと。いろんな工夫が直入小の先生方からも出るんじゃないかなということで、さっき言った裁量的な時間というのは、例えば、1時間45分のところを、40分なり35分なりに短縮して、生み出した時間を、職員の研修に充てる。金融教育は難しいですので、銀行の専門家に来ていただいて、講演をしてもらうとか、子どもが残っているとなかなか集中できないんですけど、子どもを早く下校させることも可能になってきます。そういったことで、まずは時間的な使い方が自由になるということ。もちろんそこに10%程度とか上限はあるんですけども、この辺が本当に今からアイデア次第で、いろんな使い方ができるかなと思っています。

志賀教育長

岡委員よろしいでしょうか。

岡委員

はい。

志賀教育長

他にございませんか。

委員

(「はい。」の声)

志賀教育長

では、最後に教育委員からご意見、感想等をいただきたいと思います。岡委員からお願いします。

岡委員

はい。私の方からは、先ほども出ていました市立図書館について最近思うところちょっと述べたいと思っています。私は大体2週間に1回ぐらい本を借りるために、図書館に行っています。定期的に新刊が入庫されますし、館内の環境も快適でとても気に入っています。図書館は、市民にとっての情報拠点ですし、大切な学びの場と言っても良いと思いますけども、その観点から図書館の活性化というのは、本の貸し借りだけでなく体験型イベントやトークショーとか含んだ、積極的な情報発信がもっとあったらいいなと感じています。個人的に思い付きのようで恐縮なんですけども、生涯学習の推進という意味からも、1つ提案したいテーマとしてAIがあります。今AIに関するニュースは、聞かない日はないというぐらい話題で、ただ市民の方の中には、実際AIって何なのとかですね、何か危なくて怖いと感じつつも、知らない時代で乗り遅れそうとか、自分も使いこなしたいとか様々な思いを持っている人も少なからずいると思うので、そういった知的ニーズにこたえる絶好の場として図書館にAIに関する特設コーナーみたいのを作ってはどうかと思っています。来館する人が思わず立ち止まって見たり読んだり触ったりしたくなるようなものですね。実際AIに、図書館にAIに関する魅力的な特設コーナーを作ることについてアイデアを尋ねたところ、本当にたくさん提案が出てきて、読んでいただけでわくわくしました。例えばAIが提案するには単なる紹介じゃなくて「AIとともに生きる竹田市の未来を図書館から始めよう」というストーリーを持たせ

ると来館者の心に残るとかですね、大事なコンセプトは体験と学びと地域性だということで、本だけじゃ伝わりにくいので、「見て分かる、触って分かる、生活に役立つ」の3つを満たす展示にすると、来館者の満足度が大きく上がるとかですね、実際もっといっぱい具体的なアイデア出ているんですけど、ここでそのアイデアをパクッと紹介するわけにはいきませんが、要は、AIに限らず、期間を限定して例えば夏休みとか年に1回ぐらいそういうテーマを絞った企画を打ち出して、ケーブルテレビなんかと協力して発信していくと、もっともっと魅力的な図書館になって、来館者数もさらに伸びるんじゃないかなというような気がしています。図書館にはすごく可能性を感じているので、今後何か、検討していただけるとありがたいかなと思いました。以上です。

志賀教育長

はい。ご意見として伺い、あとで、図書館のことですので、教育総務課、それから、AIのことですから、学校教育課、それぞれ、答えられる部分があれば、お答えをしたいと思います。
では佐藤委員、お願いします。

佐藤委員

はい。私からは1点、4月30日に城原小学校の学校運営協議会に参加をさせていただきました。今年1年で終わりになる城原小ですけれども、教育目標として「地域に根差して豊かに学び思いを発信する、城原っ子の育成」ということで、今年の校長先生の目標として、発信という言葉をよく使われていました。昨年は「表現する城原っ子の育成」というのを今年からは、どんどん発信をしていこうということで、発信という言葉を使っておりました。目指す児童像としては、自分や他の人と考えをつないで伝え合うこと、自分の思いや考えを自信を持って発信できるということを言われております。これは来年以降、竹田小に編入したときに、やっぱりちっちゃいところから大きいところに行って、漏れてしまうのではなくて、どんどんどんどん発信できるような子どもになっていただければいいなと思って、とてもこれは良いことだなというふうに思いました。今年1年で終わりではあるんですけども、地域の人、ゲストティーチャーを招いて、学習のサポートをしていただいたりだとか、今まで、昨年度よりももしかしたら、そういう地域の人々が学校に来る機会が多くなるのではないかなというふうに感じました。統合した後もこういうなくなった学校のゲストティーチャーとか招いて、城原の良いところとかを新しい学校でも、どんどん紹介していけたらいいかなというふうに思いました。確かに小規模校ですので、やっぱりその小集団であるために、少し人間関係とかの、固定化傾向にあったりだとか、確かによくないこともあるんですけども、学校としては、それを払拭して、来年度以降につなげていこうという考えを持っているようですので、2月に学習発表会もあるようですので、ちょっと楽しみにしながら、今年1年、学校に協力していけたらいいかなというふうに思っております。私からは以上です。

志賀教育長

はい。ありがとうございます。進委員お願いします。

進委員

私からは2点お願いします。
まずは佐藤委員と一緒に萩の教育を考える会に参加してきました。小中学校から幾つかの今年の教育重点課題等が出されたのですが、私の印象に残ったのは、小学校からは、認知機能のアンバランスが目立つので、人との関わり方、コミ

コミュニケーション、あと距離感のとり方などを身につけさせたいということ。また、中学校からは、すぐに答えを欲しがるといふ傾向にあるので、じっくり考える力を身につけさせたいということが出ました。自分自身も今わからないことがあると、すぐにネット検索をしたり、最近、私も入れたチャットGPTさんに聞いたりするので、やっぱり考えるということは大事だなというふうに、自分自身の反省も行いました。悩みごと等もですね、チャットGPTなどで解決して、心地よい答えをくれるんですけど、やっぱり自分の言葉で、友達とか、先生、親、保護者に伝えるというのはとても大事なことだと思うので、そういうところからも人との関わりコミュニケーションを学んでいって欲しいなと感じました。緑ヶ丘中学校では、自己有用感を高める取り組みとして、ポジ語、「ポジティブな言葉を発しましょう」ということに力を入れていて、こういうポジゴンというキャラクターも登場して、何か作ってですね、毎日ホームページに載せていますということでした。言い方1つで伝える方も、伝えられる方も心を持ちが変わるといふことで、先生と生徒と、あと家庭も一体となってこのポジ語を使っていこうという取り組みをしていて、とてもいい取り組みだなというふうに感じました。

もう1つですがラジオ体操です。諸事情をいろいろあって昨今、ラジオ体操する機会が減っていると思うんですけども、この春、長男が就職しまして、毎朝始業前にラジオ体操すると。長男は竹田高校時代に、体育の授業で、まずラジオ体操をして、そのテストまであったので、もう完璧にできるんだけど、その同期の中には、全く知らないという子もいたということで驚いておりました。ラジオ体操を昔のように、夏休みにするとか授業中毎回するとかいうのは無理かもしれないんですけど、私も職場でお年寄りと一緒に毎日ラジオ体操しているんですけど、運動習慣がない私には全身を使うとってもいい運動だと感じますし、また大人になってする機会も、こうやってあるので、少し知っておくといふか、やる機会を持つということも大事なのかなというふうに感じました。以上です。

志賀教育長

はい。ありがとうございました。吉野委員お願いします。

吉野委員

はい。私は入学式の感想を述べさせていただきます。中学校の入学式に行かせていただいたんですけど、他市から来られた先生が、司会進行を生徒がしていることに、少し驚かれていました。私たちからすると見慣れて、毎年、きちんと子どもたちが、しっかり進行してくれるので、立つも座るも、歌うも礼をするも、お任せで大変式の感動に身を置かせてもらってありがたい時間だなと思っていました。一方で練習が大変ということも聞いたことがありました。それを思い出しました。中学校でも、練習をする時間をやっぱり基礎学力をつける時間に回したいとかですね、また、違う観点から小学校で、サプライズのために、卒業生には内緒で贈る言葉をぶつけ本番でとかいうことも聞きました。本当に準備の指導の仕方は学校でそれぞれあって、それがしかるべきだと思うんですけどもでも厳かにかつ、心のこもった入学式にしても卒業式にしても、あの時間を体験するということが子どもたちにとってはすごく成長に繋がることだと思うので、何となく座っているだけではない、みんなで作る式というのは、これからも繋がって行って欲しいなというふうに改めて思いました。以上です。

志賀教育長

ありがとうございました。それではまず、図書館が学びの場であるというご意

見でした。活性化について、教育総務課長。

廣瀬教育総務課長 はい。私の方から岡委員からご提案のあった、A Iの特設のコーナーなどということで、図書館の職員の方と、いろいろ話す機会もありましてやはり、多くの人に利用していただくために、イベントであったり、いろんな工夫を行いたいという話をいつもされております。夏休み、また冬休みのクリスマスなども、いろんな企画をしておりますので、早速館長の方にもこうしたお話をしながら、ご相談をして参りたいというふうに考えております。

志賀教育長 A I活用については、学校教育の方でも考えていかないといけないことです。その点について、学校教育課長。

渡部学校教育課長 はい。A Iについては学校の方でも、少しずつ学んではいくと思うので、学んだことを図書館の場で発表してもらおうとか、そういう子どもたちが講師役、先生役になって発信していくっていうのも1つ面白いかなと。もう1個、以前から考えているのは、各学校に本当に本が大好きな子が必ずいます。年間300冊以上、読み上げる子もいますので、そういった子たちを集めて、A Iとビブリオバトルの対決をしてもらおうとか、こういうイベントも面白いんじゃないかなというのは以前から考えていました。本当、子ども自身にアイデアを募集するというのもいいかなと思います。

志賀教育長 そうですね、去年市立図書館では竹田出身の歌人、川野里子さんの短歌教室が行われました。夏に行われ、参加者は20人程度でしたが、Eテレの短歌教室の講師としても活躍されていますので、参加者の中には、遠くは横浜から来たという方もおられました。自分も最後まで参観させてもらい、川野さんともお話ししましたが、非常に有意義な会でした。そういったことが、市民の学びの場につながり、単に読書する、勉強する場というだけでなく、このような機会が増えていくといいかな、というふうに思っています。
それから城原小について。城原小だけでなく、白丹小もこれから統合しますので、地域に根差して発信できるように、伝え合うように、という点について、学校教育課長ありますか。

渡部学校教育課長 本日から各学校の校長に来てもらって教育長が、1年間、最初の面談をしています。その中で、教育長も私もお願いしているのが、以前から言っている竹田学。竹田についての学びをもう1回深めていきたいと思いますということで、今年はお願いをしているところです。そうした中で、総合的な学習の時間とかを利用しながら、地域のこと、地元のことから学びを進めるんだとは思いますが、その地域や地元が、どこですかというのは改めて考えていただきたい。統合先も含めて、もう地元が広がったんですよというのは、校長として、教員として忘れてはならないということで、学校の所在地の付近で、学びをするんじゃないかと、校区全体で地域の学びを深めていって欲しいなという思いで、今面談をしているところです。

志賀教育長 地域に根差す教育、或いは竹田学の推進ということもありますけれども、人数の少ない学校が人数の多い学校と統合して、子どもたちが埋もれてしまうということは、確かに心配されることではあります。今までの例としては、久住の

子が、ビブリオバトルで全国に行くとか、それから、白丹の子や久住の子が、生徒会の主要な役を占めるとか、或いは、応援団長になるとか、何かこう、ブレイクするきっかけになればいいなというふうに思っています。触発されてです。そういったことを本当に期待しているところです。

「ポジ語」の話を今日聞いたんですけど、まさに荻だけでなく、各学校でも大事なことだと思っています。

ラジオ体操は、昭和の頃はどこもしていたんですけど、ストレッチが流行り始めて、どこもストレッチに移行していったという経緯があります。ただラジオ体操をすると、運動会を見に来ている地域の方々、お年寄り結構喜ぶしますので、ラジオ体操を自分も推奨したいというふうに思っています。去年竹田市もやりましたし、今年は白丹小学校が閉校記念にからめて、夏にまたラジオ体操が来てくれることになっています。

あと、入学式、卒業式についてですが、もちろん心のこもった、児童生徒主体の学校行事ということで、非常に感動的な式典が行われていると思っています。最近ちょっと気になっていることもあります。対面形式で行うというのは非常によい面があったわけですが、今は様々な事情のあるお子さんがいて、前に引っ張り出されるのはちょっと厳しいというお子さんもあるということです。長所・短所やはりありますので、いろいろな事情を考えてさらにいいものにしていかなければならないということも考えています。

他に何か言い残したことないでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは以上をもちまして、第5回定例会を閉会します。

(閉会)

[閉会時刻:午後3時55分]